

平成 29 年 度

3 年次編入学（高等専門学校対象推薦入試）

学生募集要項

【経済経営学類】

【共生システム理工学類】



〒960-1296

福島市金谷川1番地

☎024-548-8064（入試課）

<http://www.fukushima-u.ac.jp/>

福島大学
スマートフォン対応サイト



目 次

	ページ
1. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
2. 募集人員	3
3. 出願資格	3
4. 推薦要件	3
5. 選抜方法	3
6. 試験場・試験時間割	4
7. 出願手続	4
8. 障害等のある入学志願者の事前相談	6
9. 合格者発表	6
10. 入学手続	6
11. 入試情報公開（開示）について	7
12. 入学志願者の個人情報保護について	7
13. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において 被災された方に対する検定料の免除について	7
14. その他	8
○ 大学案内図	本要項末

この募集要項には以下の書類が添付されています。

1. 入学志願票・写真票・受験票
2. 検定料収納証明書貼付票・検定料免除申請書
3. 推薦書
4. 本学指定調査書（学類別）
5. 志願理由書
6. 受験票等送付用封筒
7. 宛名票（シール）

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

経済経営学類

1. 経済経営学類の教育目標と求める学生像

経済経営学類では、現代社会で起こっている様々な問題に関心を持ち、それらを経済・経営の視点でとらえる能力をもつことによって、社会での実践力を発揮するために、卒業までに次の3つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・職業人、生活者として自立し、社会的、倫理的な観点から自らを律することができる。
- ・幅広い教養と経済学・経営学分野の基礎的・専門的知識に基づいて、現実を分析し、論理的に思考することができる。
- ・経済学・経営学分野の基礎的・専門的知識を適切に応用ことができ、経済学士としての実践力と問題解決能力を身につけている。

経済経営学類では、2年生の後期（第4セメスター）から、経済分析専攻、国際地域経済専攻、企業経営専攻の3つの専攻のいずれかに所属することになります。各専攻は、次のような基礎的・専門的な知識及び能力を身につけた人材の育成を目標としています。

- ・経済分析専攻：ミクロ・マクロ経済学での諸議論を通して経済のしくみを体系的に理解し、得られた知識を金融・公共経済をはじめとした経済システムの分析とそのあり方に関する実践的な考察に応用することができる。
- ・国際地域経済専攻：経済学的素養に基づく理論的、歴史的、政策的見地に加えてグローバルな知識を身に付けて今日の経済社会を理解し、国際社会と地域社会の課題に理論的実践的に取り組むことができる。
- ・企業経営専攻：企業活動に対し、外部環境を踏まえて定量的・定性的に分析するための専門的知識を有し、それを応用して企業およびその他組織における適切な意思決定ができる基礎的力量を身につけている。

2. 入試の際に求める知識・技能・関心

現代社会で起こっている様々な問題を経済・経営の視点でとらえる能力と、社会での実践力を大学において身につけるために、以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

- (1) 高校時代までの基礎的な学力
 - ・国語、地歴公民、理科、数学、外国語について、修学に必要な知識を有している。
- (2) 読解力・思考力・知識活用力・表現力
- (3) 現代社会で起こっている様々な問題に対する関心・意識と勉学意欲
- (4) 得意分野に関する優れた学力・実績（推薦入試及び専門学科・総合学科卒業生入試に該当）

推薦入試及び専門学科・総合学科卒業生入試では、上記の(1), (2), (3)に加え、以下の点を評価します。

 - ・推薦入試（以下のうち1つ以上）

行動力や創造力に基づいた、特記すべき活動歴を有している。

簿記・情報関連に対する優れた知識、ないし関連資格を有している。

英語等の外国語に関する優れた知識、ないし関連資格を有している。
 - ・専門学科・総合学科卒業生入試
簿記、情報等の実践的科目に対する優れた知識を有している。

共生システム理工学類

1. 共生システム理工学類の教育目標と求める学生像

共生システム理工学類では、学生が卒業までに、人－産業－環境が共生するためのシステム科学を学び、個性に応じた実践的研究の体験を積むことで、以下の3つの力を身に付けることを教育目標としています。

- ・人－産業－環境のシステム科学に関する幅広い専門知識
- ・広い視点から課題を発見できる文理融合型の思考力
- ・21世紀の諸問題に挑戦し問題解決するための実践力

共生システム理工学類には、人間支援システム専攻、産業システム工学専攻、環境システムマネジメント専攻の3つの専攻があり、それぞれ以下のような特徴をもつ研究・教育を行っています。そのいずれかに興味があり、自分に適合していると考えられる学生を求めます。

- ・人間支援システム専攻では、心理学・生理学・生体工学などのヒト理解に関わる生体システム科学や、情報・機械・電気・電子工学などを基礎とする人間支援の技術開発についての研究などを通じた教育、およびそれらに必要な基礎教育を行っています。これにより、卒業後、人間支援技術分野で活躍できる人を育てています。
- ・産業システム工学専攻では、化学工学・材料工学などを基礎とする環境負荷の少ないものづくり技術、情報工学、経営工学、さらにそれらを基礎とする省資源・循環型社会システムの構築についての研究などを通じた教育、およびそれらに必要な基礎教育を行っています。これにより、ものづくりが好きで企業経営にも強い関心があり、卒業後、エンジニア・弁理士など産業支援の様々な分野で活躍できる人を育てています。
- ・環境システムマネジメント専攻では、環境分析化学、浄化工学、生態学や地域計画、流域管理計画などを基礎とする環境システムに関する研究などを通じた教育、およびそれらに必要な基礎教育を行っています。これにより、水を中心とした環境理解と自然資源の確保・保全に強い関心があり、卒業後、環境管理者、環境計量士、公害防止者として活躍できる人を育てています。

2. 入試の際に求める知識・技能・関心

本学類は、人間について知りたい、ものづくりや経営に興味がある、自然や環境を調べたい、の少なくともどれか一つに当てはまり、人間社会が抱える問題にも関心がある皆さんの入学を歓迎します。本学類での学習は、高校までの数学・理科を基礎に発展させますが、変化を続ける人間社会とその課題を理解する力も必要です。そのため以下に挙げる基礎的な知識・能力・意欲を有している学生を求めます。

- (1) 高校時代までに学ぶ基礎的な知識
(国語、地歴公民、理科、数学、外国語についての、修学に必要な知識)
- (2) 理系科目に対する柔軟な思考力、理解力、応用力、および表現力
- (3) 人－産業－環境の共生システムの理解・開発・管理等に継続的に取り組む意欲

2. 募集人員

学 類 名	専 攻	募 集 人 員
経済経営学類	経済分析専攻	若干名
	国際地域経済専攻	
	企業経営専攻	
共生システム理工学類	人間支援システム専攻	若干名
	産業システム工学専攻	
	環境システムマネジメント専攻	

- (注) 1. 専攻の所属は入学後、本人の希望により決定します。
2. 編入学の修業年限は2年、在学期間は最大4年間になります。

3. 出願資格

次の(1)~(2)すべてに該当する者とします。

- (1) 高等専門学校を平成29年3月卒業見込みの者
- (2) 学力・人物ともに優れている者

4. 推薦要件

志願する学類のすべての推薦要件に該当する者のうち、学校長が責任を持って推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者とします。

学 類 名	推 薦 要 件
経 済 経 営 学 類	(1) 在学中の成績が所属学科の上位に属し、さらに、本学類指定調査書の計算方法による「全科目評定値平均」が4.0以上の者 (2) 経済学および経営学関連分野に強い関心を有する者
共生システム理工学類	(1) 在学中の成績が上位に属する者

5. 選抜方法

学 類 名	選 抜 方 法
経 済 経 営 学 類	(1) 書類審査 (100点)：出身学校長から提出された推薦書および調査書を総合判定します。 (2) 面接 (100点)：面接を行い、本学類の教育方針との適性をみます。これらの総合点により判断します。
共生システム理工学類	口述試験および出願書類 (調査書等) を総合して判断します。 口述試験では、志望する各専攻で学ぶために必要な基礎学力を問います。

6. 試験場・試験時間割

(1) 試験場

福島大学（福島市金谷川1番地）・・・本要項末の大学案内図を参照してください。
試験会場の詳細については、受験票送付の際に、併せてお知らせします。

(2) 試験時間割

学 類 名	期 日	時 間	試験科目等
経 済 経 営 学 類	12月3日(土)	13:00~17:00	面 接
共生システム理工学類	10月15日(土)	9:00~	口述試験

7. 出願手続

(1) 出願期間

学 類 名	出 願 期 間
経 済 経 営 学 類	平成28年10月24日(月)から10月27日(木) 午後5時まで
共生システム理工学類	平成28年9月5日(月)から9月8日(木) 午後5時まで

(2) 願書提出先

福島大学入試課 〒960-1296 福島市金谷川1番地 ☎024-548-8064

(3) 出願方法

入学志願者は、次の書類を取り揃え、必ず「書留速達郵便」とし、封筒の表面に「経済経営学類高専推薦入学願書在中」または「共生システム理工学類高専推薦入学願書在中」と朱書してください。出願期間を過ぎた場合は受理できませんので、郵送期間を十分に考慮して早めに送付してください。ただし、経済経営学類は、平成28年10月26日(水)以前、共生システム理工学類は、平成28年9月7日(水)以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

持参の場合、入試課の窓口受付時間は平日の午前9時から午後5時までです。

出願書類

出願に必要な書類	該当学類		摘 要
	経済経営学類	共生システム理工学類	
1. 入学志願票, 写真票, 受験票	○	○	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 指定の場所に、写真（出願前3ヶ月以内に撮影、上半身、正面、脱帽、縦4cm×横3cm）を貼付してください。
2. 検定料収納証明書貼付票	○	○	「検定料収納証明書貼付票」裏面の「検定料支払方法のご案内」を参照の上、検定料30,000円を下記の期間内に払い込んでください。（払込手数料が別途必要です。） 【払込期間】 経済経営学類： 平成28年10月22日(土)~10月27日(木)16時30分まで 共生システム理工学類： 平成28年9月3日(土)~9月8日(木)16時30分まで (期間外は払い込みできません。)

			<p>「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、「検定料収納証明書貼付票」に貼付した上で出願書類に同封してください。</p> <p>入学願書を受理した後は、いかなる理由があっても検定料は返還できません。</p> <p>※検定料免除について</p> <p>本学では、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故ならびに平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、平成28年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を行います。</p> <p><u>免除の条件については7ページの「13. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。</u></p>
3. 推薦書	○	○	学校長が作成し、厳封したもの（本学所定の用紙）。
4. 調査書	○	○	学校長が作成し、厳封したもの（本学所定の用紙）。 厳封した成績証明書を添付すること。
5. 志願理由書	○	○	志願者本人が作成したもの（本学所定の用紙）。 経済経営学類：裏面も記入してください。 共生システム理工学類：高等専門学校で学んできたこと、本学で学びたいことを中心に作成してください。
6. 卒業研究概要	×	○	高等専門学校で取り組んでいる卒業研究テーマ、概要を記したもの（様式は任意、A4判2枚以内にワープロで作成のこと）。
7. 受験票等送付用封筒（本人宛）	○	○	本学所定の封筒に、志願者本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、362円分の切手を貼ってください。
8. 宛名票（シール）	○	○	合格通知を受けるところの郵便番号・住所・氏名を記入してください（本学所定の用紙）。

- (注) 1. 高等専門学校に編入学・転入学した者は、出身高等学校等の調査書も添付してください。
2. 廃校または被災、その他の事情により出身学校長の成績証明書を得られない者は、成績通信簿（正本または写し）を提出してください。ただし、写しを提出した者は、受験の際に必ず正本を持参してください。なお、前記の書類も整わない場合には、入試課へ問い合わせてください。

(4) 出願書類の記入上の注意

- ① 黒か青のボールペンまたは万年筆を用い、楷書で記入してください（ワープロも可）。
- ② 誤って記入した場合は、その部分を二重線で消し、訂正してください。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。

(5) 出願状況について

本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に出願状況等を掲載します。

8. 障害等のある入学志願者の事前相談

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度）等のある入学志願者で、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願の1か月前までに本学入試課まで申し出てください。

9. 合格者発表

学 類 名	日 時
経 済 経 営 学 類	平成28年12月8日(木) 午前11時
共生システム理工学類	平成28年10月20日(木) 午前11時

合格者の発表は、本学入試課前の掲示板および本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続・諸会費等を記載した「入学手続の手引き」を送付します。

電話による合否の問い合わせには応じません。

合格者発表当日は、インターネット回線が混雑するため、つながりにくい場合があります。

10. 入学手続

- (1) 合格者は、下記期間に**郵送にて**入学手続を完了してください。詳細は、合格者に送付する「入学手続の手引き」に記載します。

平成28年12月12日(月)～19日(月) 午後4時必着

(注) 指定期日までに入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。

- (2) 入学辞退者の取扱い

原則として、推薦入試に合格した者は入学を辞退することは認められません。ただし、特別な事情により入学を辞退する場合には、平成28年12月19日(月)までに「入学辞退願」(様式は任意)を出身学校長名により、理由を付して提出してください。

- (3) 入学時の大学への納入金

入学料(予定額)	282,000円
----------	----------

(注) 1. 上記の入学料は予定額です。入学料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

2. 入学手続完了後に、入学を辞退した場合(留年等により入学資格を満たせなくなった場合を含む。)は、入学料の返還はできません。

- (参考) 1. 授業料について

授業料は、入学後に口座引落により納入していただきますので、入学時に納入する必要はありません。なお、授業料の金額(予定額)は次のとおりです。授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

授業料(予定額)	前期分 267,900円
	後期分 267,900円
	合計(年額) 535,800円

2. 諸会費について

入学時に必要となる入学料以外の諸会費(「学生会」「後援会」「同窓会」の会費等)については「入学手続の手引き」送付の際にお知らせします。

- (4) 入学料・授業料の減免について

経済的理由により入学料または授業料の納入が困難で、かつ、高等専門学校における学業成績

が優秀と認められる場合には、選考のうえ入学料または授業料の減免が許可される制度があります。

11. 入試情報公開（開示）について

(1) 試験問題について

経済経営学類が行う面接において資料を用いた場合、その資料を試験終了後に公開します（閲覧のみ）。

(2) 合格者の最低点について

合格者が10人以上の場合、合格者の最低得点を合格者発表時に合格者番号の掲示板および本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)に公開します。

(3) 入学試験個人成績および調査書の開示について

入学試験個人成績、出願書類として提出された調査書（経済経営学類のみ）を受験者本人からの申請に限って開示します。

① 開示期間 平成29年5月8日(月)～5月31日(水)

② 開示方法 平成29年4月上旬、本学ウェブサイトに掲載します。

<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/kaizi.html>

③ 開示内容

経済経営学類：ア. 入学試験個人成績については、書類審査・面接の総合点。

イ. 調査書の内容

共生システム理工学類：口述試験の内容

12. 入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類や入学試験により個人情報を取得します。取得した個人情報は、下記の目的でのみ利用し、その保護に努めます。

○入学者選抜に関する業務（統計処理等の付随する業務を含む）に利用します。

○入学手続完了者にあつては、入学後の修学指導業務および学生支援業務、授業料徴収業務に利用します。また、入学料免除、授業料免除および各種奨学金申請（応募）者にあつては、入学試験の成績等を当該免除者または奨学金貸与者の選考判定等に利用する場合があります。

13. 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

本学では、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故、および平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、平成28年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

(1) 対象者

次のいずれかに該当すると認められた平成28年度の本学入学志願者については、検定料を全額免除します。

① 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、本人または主たる家計支持者が居住していた家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失の罹災と認定された方

② 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、主たる家計支持者が死亡または行方不

明となった方

- ③ 東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて設定された「警戒区域」, 「計画的避難区域」, 「緊急時避難準備区域」, 「特定避難勧奨地点」に平成23年3月11日時点で本人または主たる家計支持者が居住していた方で、これに伴い避難を余儀なくされた方

上記免除対象者の詳細については以下の表をご確認ください。

区 分	検定料免除の可否 (可は○, 否は×で示しています)				
	全 壊	大規模半壊	半 壊	流 失	一部損壊
①家屋の全・半壊	○				×
②主たる家計支持者が死亡または行方不明	主たる家計支持者				主たる家計支持者以外
	○				×
③原発事故による影響	警戒区域	計画的避難区域	緊急時避難準備区域	特定避難勧奨地点	それ以外の地域
	○				×

注：区域については、再編前の区域としています。

(2) 必要書類

検定料免除を申請するにあたって必要な書類は以下のとおりです。

- ① 検定料免除申請書 (本要項に添付された指定の様式)

- ② 次に挙げる証明書のいずれか一つの写し

上記(1)①に該当する場合, 「市町村長が発行する罹災証明書」

上記(1)②に該当する場合, 「主たる家計支持者の死亡または行方不明を確認できる書類」

上記(1)③に該当する場合, 「避難している (いた) ことが確認できる書類」 (自己申立書でも可)

(3) 必要書類の提出方法と提出期間

出願期間中に書類と合わせて提出してください。

なお, 検定料免除申請を行う場合は, 出願時に検定料を払い込まないでください。また, 「検定料収納証明書貼付票」の提出は不要です。

14. その他

入学時に, 既修得単位を本学の授業科目の履修によるものとみなすための単位認定を行います。その結果によっては, 2年間で卒業できない場合があります。なお, 在学年限は4年間です。

受験番号 (記入不要)

HK
HR

推 薦 書

福 島 大 学 長 様

(フリガナ)

学生氏名

男
・
女

昭和・平成 年 月 日生

志願学類名

学類

上記のものは、貴学 編入学 (高等専門学校対象推薦入試) の要件に該当する者と認め、責任を持って推薦いたします。

平成 年 月 日

所 在 地

学 校 名

学 校 長 名

公印

記入責任者氏名

印

推薦理由書 (担当教員所見およびその他特記事項)

学校名

学生氏名

(担当教員所見)

(その他特記事項)

担当教員氏名



受験番号 (記入不要)

H K

【経済経営学類・編入学 (高等専門学校対象推薦入試) 用】

調 査 書

フリガナ		生年月日	
氏 名		性 別	男 ・ 女
出身学校	国立 公立 私立	学科	
平成 年 月 入学・編入・転入学	平成 年 月 日 卒業(修了)見込		
休学期間	～	理 由	

学習成績 (別紙「成績証明書」のとおり)

科 目	国 語	社 会	数 学	理 科	保健・ 体育	芸 術	外 国 語		総 合 目	専 門 目	全科目 評定値 平均
							英 語	第 二 外国語			
評定値 平均											
卒 業 研 究 題 目						学 科 内 席 次	1 年	人 中	位	(記入不要)	
							2 年	人 中	位	(記入不要)	
							3 年	人 中	位	(記入不要)	
							4 年	人 中	位	(記入不要)	
										(記入不要)	

本書の記載事項に誤りが無いことを証明する。

平成 年 月 日

所 在 地

学 校 名

学(校)長名

公印

調査書記入上の注意

- 1 学習成績の評定値については、次の評定値基準によってください。

高等 専門 学校	5	100点～ 80点
	4	79点～ 60点
	3	59点～ 50点
	2	49点～ 30点
	1	29点以下

- 2 各科目の評定値平均については、小数点以下第2位を四捨五入してください。

各科目の評定値平均の計算方法

科目の評定値平均＝評定値の合計÷評定の数

なお、履修していない科目がある場合には、単に空欄とせずに斜線を引いてください。

- 3 全科目評定値平均については、小数点以下第2位を四捨五入してください。

全科目の評定値平均の計算方法

全科目の評定値平均＝各科目の評定値平均の合計÷科目の数

なお、履修していない科目がある場合には、履修していない科目数を上記計算式の分母「科目の数」から除き、履修している科目の平均値を計算してください。

- 4 出身学校の「成績証明書」を添付してください。

ただし、高等専門学校に編入学・転入学した者は、出身高等学校等の調査書も添付してください。

- 5 「学科内席次」欄には、出身学校における各学年の席次を記入してください。

ただし、高等専門学校に編入学・転入学した者や、休学などで出身学校の「学科内席次」の記載ができない学年がある場合には、単に空欄とせず斜線を引いてください。

調 査 書

受験番号 (記入不要)	HR	男 ・ 女	国立 公立 私立	高等専門学校 学科	平成 年 月			
ふりがな					入学・編入学・転入学		平成 年 月	
氏名								卒業見込
生年月日	昭和・平成 年 月 日							

学習成績【該当する項目が記載された成績証明書等がある場合は、それを添付し記入を省略できます。】
 (注) 取得見込科目については科目名、単位数を記入し、成績欄には○印を記入してください。

授業科目	学年	総単 位数	成 績					授業科目	学年	総単 位数	成 績				
			1学年	2学年	3学年	4学年	5学年				1学年	2学年	3学年	4学年	5学年
一 般 科 目															

在 学 中 の 状 況			学 年	席 次
			1 年	人 中 番
			2 年	人 中 番
			3 年	人 中 番
			4 年	人 中 番
	評 価 基 準		優 (A)	点 ~ 点
			良 (B)	点 ~ 点
		可 (C)	点 ~ 点	

所 見	
--------	--

本書の記載事項に誤りのないことを証明します。

平成 年 月 日

記載責任者名



学 校 所 在 地

高 等 専 門 学 校 名

学 校 長 名



経済経営学類志願の者のみ記入

(将来に対する抱負)

(自分が優れていると思うこと：複数記入可)

福島大学案内図

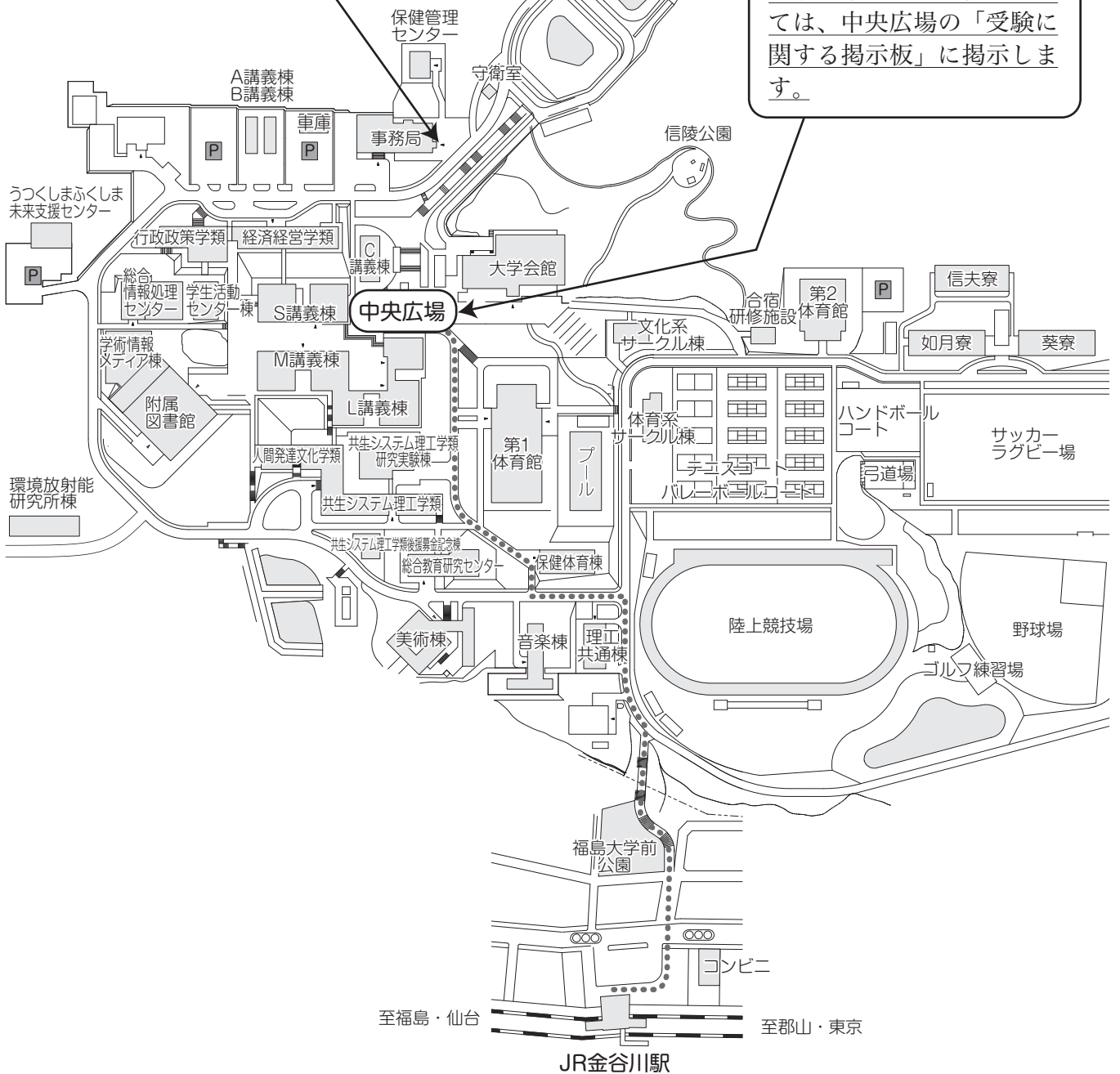


県道 至福島
福島・安達線 (旧国道4号)
至松川町

入試課 (1F)
(合格者発表掲示板)

受験に関する掲示板

試験室案内など詳細については、中央広場の「受験に関する掲示板」に掲示します。



かなやがわ
JR東北本線金谷川駅下車
中央広場まで徒歩約10分



国立大学法人

福島大学

Fukushima University